

Playing Charter Digest

新しい Rugby Playing Charter 活用のためのガイド

西川 義行

前書き

ルールブックの冒頭に掲げられている Playing Charter は、ラグビー競技の根幹に関わる重要なものです。ラグビーを楽しむためにプレーヤーだけでなく見る人にとっても大切なもので大切なことがいっぱい書かれています。レフリーや指導者にとっても勿論です。

IRB 競技規則（ルールブック）の冒頭の Playing Charter 日本語版が新しくなりました。実際的で分かり易くなりました。chart は海図を指し、charter は憲章、免許状という意味です。「ラグビー日本丸」も進む方向と海図を常に照合して、進路に誤りがないか確かめ修正しつつ進まなくてはなりません。

Playing Charter の Contents 内容は次の 4 部になっています。

Introduction, Principles of the Game, Principles of the Laws, Conclusion

Digest 消化する、この摘要版は、次の題目により考察を進めます。

- 第 1 章 Introduction 初めに Charter の主旨
- 第 2 章 The Principles of the Game 解説
- 第 3 章 The Principles of the Laws と Conclusion 解説
- 第 4 章 Introduction の 5 つの徳訓
- 第 5 章 Charter と fair の精神
- 第 6 章 Charter と moderate and reasonable

第1章 Introduction 初めに Charter の主旨

第一段

ラグビーはイングランドで簡単な遊びとして発祥し英本国から旧植民地や欧州各地に広まり、ラグビー人口も何百から何千何満何千満と増加し、世界中に広まっています。1970年に創立されたイングランドラグビー協会をはじめとして各国・各地に協会ができています。競技の内容も power と flair を生かし複雑でダイナミックなものになってきました。ラグビーのグローバルな普及発展とラグビー人口・組織の巨大化に対応し、その identity を保ちつつ側面にある価値観の多様性に対処する必要性もあります。

第二段

ラグビーをするにあたってとめられる勇気、忠誠心、スポーツマンシップ。規律そしてチームワークは、ラグビーから得られる社会的徳目でもあります。この憲章がチェックになってフィールド内外を問わず人生に役立ち生かされることが大切であり、広く望まれています。5つの目標としては徳目・教えとしては訓示については別の章で考察を深めることにします。

第三段

この憲章は競技規則とともに欠くことのできない重要なものです。ここで競技規則とチャーターの関係について復習しておきましょう。

ラグビーが英本国から全世界にひろまり、多くの人によって行われるようになり、アマチュアスポーツとして identity を誇ってきましたが プロ化が進み、勝利至上主義の独占から、競技精神の高揚と競技方法の統括推進のため、IRB としてプレーの指針となるものの必要性を唱えられるようになりました。

1866年にラグビースクールで行われてフットボールの規則が整理しまとめられて以来精神的なものも含めて Laws of the Game (ルールブック) が競技の原理・原則と精神面も含めて、完全充足するものと考えられていました。

1970年代当初の RFU 創立 100周年の記念式は、グローバルスポーツラグビーの出発式でもありました。グローバル化が急速に進み、統合組織の強化と意識統一のための綱領の必要性から原案が作成されました。

1997年改定して一般に知らしめられるようになりました。ミレニアム改定に際しても議論が繰り返えされました。

2002年に日本協会は 1997年改定版を翻訳してルールブックへ組み入れました。

2004年の IRB ルールブックに初めて PLAYING CHARTER が組み込まれました。但し、裏表紙から、上下も反対にした奇妙なものでした。playing charter をルールブックに組み入れるべきかどうか完全に結論が出ていなかったのです。知恵と工夫の産物としてのワンクッション置かれたのです。

2004年のルールブックでは冒頭に上下も同じ形で完全に組み込まれました。



写真：2004年度競技規則（英文）

2007年の日本語版は新しい Playing Charter を翻訳し書き替えました。言葉や項目の羅列ではなく、内容が豊で分かり易いものになりました。この機会に全ての関係者が憲章の主旨を理解し実践することがのぞまれるのです。それはラグビーの普及発達のために必要不可欠であるとともに、日本のラグビーの復興に大いに役立つとおもいます。

Introduction は、

It is hoped that this Charter will help reinforce those cherished values.

と結ばれています。

第2章 The Principles of the Game 解説

Introduction に続いて Principles of the Game 競技の原点を解説しラグビーを楽しむ糧にしましょう。

競技の原点を Conduct, Spirit, Object, Contest and Continuity という4項目に分類して明確にしています。

[Conduct] 活動

初めに、2023年ラグビー発祥200周年に向けてグローバルに発展を続けるラグビーを称える心を、全てのラグーマンたちの意気と熱に寄せて述べています。

William Webb Ellis W杯はエリス杯と呼ばれています。

・・・has doggedly survived the countless revisionist theories since that day at Rugby School in 1823. doggedly survived 頑固に生き延びてきたということは、それだけの信念と生き延びることができた環境があったということです。

in an act of spirited defiance 気強く無視する形で普及発展の一途をたどり、いろいろな意見や論説に元気よく挑戦するように appropriate 自分のものにしてきました。ラグビースクールにあるラグビー発祥の記念碑を改めて読みましょう。



Wikipedia より引用

http://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/4/47/WWEplaque_700.jpg

イングランド協会創立100周年を迎えるにあたり、歴史研究のための委員会を設けて努力しましたが、結論的には確たる証拠無しということで、1870年に描かれた一枚の絵が発祥を物語るものとして取り上げられました。いつの時代にも各校の古い記録をもとに反論くりかえされてきました。

そして、100周年記念式でティックナムで一堂に会して「ラグビースクールの碑文の如く発祥した」とする結論に賛同し、W杯実施にあたって「エリス杯」と呼ぶことになりました。

ラグビー発祥は偶然の出来事ではなく、自然発生的です。歴史的に、社会的に自然な産物で社会のニーズに応じたものであることには間違いなく、ルネッサンス・産業革命・ヒューマニズム浸透・ヨーロッパ社会の変化興隆、改革発展の波の中でも英国の隆盛発展は特に目覚ましいもので、その中での出来事です。

そんな社会でラグビーという競技の発祥についての関心は常に大きく、いろいろなところでフットボールが盛んでボールを持つという事実行為もあり本家争いにも似た論争はある程度当然なことであり、ラグビーの机上で他の競技を参考に作られたのではない偉大さを拡大する以外の何者でもありません。それは愛好家に流れる熱い血が原因であって歴史を傷つけるものでもなく、ラグビーを愛する誇りの一端とも言えることです。

ラグビーの本質に基盤に据え、プレーする心得について説いています。

・・・ the guiding principles behind a game ・・・

競技を楽しむ際には、競技の背後にある原理・原則の理解が大切です。それらの根源は発祥にみられる人間性豊かな楽しむ心です。

appears to be a mass of contradictions.

一つ一つ別にとりあげますと矛盾の固まりのようにみえますがそうではありません。It is perfectly acceptable 長年にわたる人間の知恵と工夫のたまもので、人間の性善なる情熱をもって完全にうけいれられてきたのです。

ラグビーは一見激しさが表面に出て、荒々しく危険な競技に見えますが、誰でも親しみが持てる楽しいものです。The name of the game is Enjoyment.の題目通りです。身体と身体がぶつかる競技ですから、接触が負傷に結び付く可能性が全く無いとは言えませんが、それだけプレーヤー楽しむに当たって事故防止に努める姿勢が大切であるということです。fair playは相手をも尊重することでもあるのです。これは、性悪な熱血者に対する戒めも必要とする現状への反省でもあるのです。

There are boundaries . . . 守らなくてはならない境界限度があることを明言しています。
it is the capacity to make this distinction

他のスポーツとの違いを形成する力であり要素です。

combined with control and discipline,

自制と訓練を経て身についた規律の融合したものによって、望ましいラグビーが作られ望ましい人間像が形成されていくのです。

第2章をうけてさらに自制と規律について述べています。Introduction 中の5つの徳目、Courage, Loyalty, Sportsmanship, Discipline, Teamwork を復習しましょう。

それらはラグビーの identity の根源で、それらはラグビーから得られる素晴らしい収穫でもあるのです。

自制と訓練によって培われた規律を守る精神と実践が重要で、それらは個人とチームとしても必須の責務なのです。

[Spirit] 精神

Rugby is played both to the letter and within the spirit of the Laws.

「ラグビーは競技規則の文字と精神との両方でプレーされる」と宣言しています。ルールを守るとはその精神をもふくめてのことであって、精神を無視したり、裏をかくようなことはしてはならないのです。

「競技規則に書かれているラグビー精神」は文字面の意味をたどっているだけでは正確に理解しているとは言えません。一つ一つの条項成立の根拠と経過を知り、規則の意図するところを把握して実行することが大切です。そうする義務・責任が、コーチ、キャプテン、プレーヤー、レフリーにそれぞれあるのです。

discipline, control and mutual respect that the spirit of the game flourishes

flourishes 競技の精神が鮮やかに表している規律、自制そしてお互いの尊敬はラグビーの基本精神であり、それらの体得実践を促すとともに、素晴らしいゲームは、訓練と自制と相互の尊敬を通して達成されることを重ねて述べられています。そしてフェアプレーとは、激しく正々堂々と戦うことだけではないことを認識しなければなりません。

The principles of Rugby are the fundamental elements upon which the game is based and they enable participants to immediately identify the game's character and what makes it distinctive as a sport.

ラグビーの伝統と美德は時が経ち、あらゆるレベルでプレーされるようになっていますが、他の競技に見られない輝かしい良さを誇りに思い、それを残し将来につたえていかなければならないという自覚も現代人にとって大切なことです。

[Object] 目的

ラグビーは簡単な競技であるという真実を基盤に、そのことを基調に据えて述べられている記述を簡単に軽薄に受け止めてはいけません。

in a sporting spirit sportsmanshipと言わないで sporting spirit でボールを取り合いという中身も考えるべきでしょう。

carrying, passing, kicking, grounding the ball,複雑に考えるよりも、簡単純粋に活動し得点を取り合うことです。

ラグビーは現在まさにグローバル競技です。

by men and women and by boys girls worldwide 世界中の男女

more than 3 million people 300 万人以上

6~60 6才から 60才

そのために要求される技術や体力はそれぞれの機会によって異なるのは当然です。

A sport of all ラグビーは全ての人にとって素晴らしく楽しいスポーツです。

複雑に考えたり、難しく考えたりしないで、形式張って構えないことを忠告しています。

男女や年齢で広いレベルで行われているわけですから、当然体格身長能力にあった方法でやればよいのです。

[Contest and Continuity] ボールの争奪と継続

The contest for possession of the ball is one of key features.

ボール獲得競争は競技の鍵となる形の一つです。

ボールを取り合いは、多くの異なった形でおこりますが、ボールの取り合いに始まって、接触時、一般プレー、スクラムラインアウトキックオフ等でプレーの継続競争をするわけです。

The contests are balanced in such a way as to reward superior skill displayed in the preceding action.

ゲームは続く展開即ちゲームの進行に効果を発揮する技術がすぐれている側が有利であるというように進展する。balance が取られるという表現は単なる勝ち負けでなく、双方の立場にたった味のある言葉です。

these areas of play can be fairly contested

セットプレーではとくに fair play が大切で要求されるのです。

ボールを所有するには即ち勝つ方法を教えています。

前進して点をとるために、

It is the aim of the team in possession maintain continuity to advance and score points.

その方法としては、

by denying opposition the ball 相手にボールを取られないように

by skilful means いろいろな技術を駆使して

失敗するとボールを所有する時間がみじかくなり、相手の防御を容易にします。

Contest and Continuity, profit and loss.

ボールを勝ち取り継続する。利益か損と津か。 短い言葉に尽くされています。

ラグビーは running handling game です。

ボールを獲得し継続し続けた法が勝ちということです。

難しく考えないでボールを持って走り回れば良いと単純明快に割り切って伸び伸びプレーすることを勧めています。

以上のために、ためにチームとしては協力して次のようにバランスをとりなさいというのです。balance 釣合、調和、片寄りなく均衡を保つという表現に深い内容 があります。moderate と reasonable の心情を思い出してください。

balance between continuity of play and continuity of possession

プレーの継続とボール所有の継続については次のように整理できます。

一つのプレー+プレー継続するためのプレーの連続に終始することなく、ボール所有維持のためのプレー・行為を噛み合わせることを強調しています。

一人の一つのプレーのバランスに始まってチームとしては人数のバランスという視点から連続プレーの中での人数配分も興味ある策戦の一つであるということ、そのことは15人のラグビーの重要な過程でもあるのです。全員の運動量を増やしダイナミックなラグビーに至るものです。

balance of contestability and continuity applies to both set piece and general play

balance はセットプレーと一般プレーの両方に言えることです。

第3章 The Principles of the Laws と Conclusion 解読

競技規則の基本がおかれている4つの題目

The principles upon which the Laws of the Game based are:

1. A Sport For All 全ての人のスポーツ
2. Maintaining and Identity 独自性の保持
3. Enjoyment and Entertainment プレーする喜びと観る楽しさ
4. Application 適用

[A Sport For All]

The Laws provide players プレーヤーに用意され与えられます
全てのプレーヤーの中身はいろいろで、
of different physiques, skills, genders and ages
環境もいろいろで、
with the opportunity to participate at their levels of ability in a controlled, competitive and
enjoyable environment
競技規則の知識を体することが義務としてかかっているのです。
all who play Rugby to have a thorough knowledge of the Laws

[Maintaining the Identity]

ensure that Rugby's distinctive features are maintained
ラグビーの特徴のある競技形態として、スクラム、ラインアウト、モール、ラック、キック
オフ、リスタートプレーなどがあげられますが、後ろへのパスと、ボールをもっている
者へのタックルも独特の形です。

[Enjoyment and Entertainment]

provide the framework for a game 競技の骨格を形成しています。
競技はプレーして楽しく、見て
both enjoyment to play and entertaining to watch these objectives appear to be....are enhanced
高められる 増進される
incompatible 両立しない
the players to give full rein 十分に制御
To achieve the correct balance 正当な均衡保つように
constantly under review 常に再検討される状態にあります。

[Application]

over-riding 踏みつける obligation 負担
observe the Laws and to respect the principles of fair play
規則を守りフェアプレーの原理を完うしようとする競技規則は次のような方法で適用
されねばなりません。
is played according to the Principles of Rugby
Principles of fair play と Principles of Rugby を並立理解
レフリースとタッチジャッジの遂行要件。目標達成条件。
Fairness 公平
consistency 首尾一貫
sensitivity 磨かれた感覚
management 高いレベルの管理
勿論、レフリースの努力に応えるコーチ、キャプテン、プレーヤーの責任は大きい。
respect the authority 見返りとして権威に対する尊敬が得られる。

[Conclusion]結び

ラグビーは成人男女男女子供たちのために価値の大きいことを自信をもって宣言してい
男女少年少女にも すべての人にラグビーから得られるものは限りなく大きい。
teamwork, understanding, co-operation and respect for fellow athletes.
チームワーク、理解力、協力性や競技相手を認め共同する心を培うものです。
cornerstones 新しく始める人たちに、参加する喜びをとおして、競技が要求する勇気と技
術の向上への努力喜びです。それだけではなく、いろいろなものを含めて生活全体を豊に
することができます。

the love of the team sport チームの素晴らしい点への愛する気持ち
the lifelong friendships 生涯続く友情
forged through a shared interest in the game 興味をもって競技を楽しむ中で、
it is because of, not despite 理由であって憎しみではないと断言しています。
physical and athletic characteristics 肉体的で競争する個性特徴
such great camaraderie 大きな同志愛、友情
before and after matches 試合の前と後に存在する
competing team 競い合うチームが戦っている時だけでなく
from the pitch and in a social context 競技場を離れて社会的関連においても
remains at the core of the game 競技の核心に残っている
embraced the professional era, プロ化が進んでいる時代ではあるが、
has retained the ethos and traditions recreational game リクリエーション競技としての気風
と伝統は保持されている。
目標達成に努め誇りとするべき評価の基準はとして、
retain high standards of sportsmanship スポーツマンシップの高い水準保持
ethical behaviour and fair play 倫理的態度とフェアプレー
そして最後にこのチャーターが改めて役立つことを期待しています。
reinforce those cherished values 心を込められた価値の再入力
cherished values という言葉の豊富な中身を大切にしなければなりません。

第4章 Introduction の5つの徳訓

Rugby embraces a number of social and emotional concepts such as courage, loyalty, sportsmanship, discipline and teamwork.

ラグビーが内蔵している social and emotional concepts 即ち、それらは、ラグビーが人間に求めているものであり、人間がラグビーから得られるものでもあります。それらは、フィールドの中だけでなく、フィールドの外の社会全般において大切なことであり、生かされなくてはならないことです。

大切な5つの要素の言葉をまず正確に理解することに努めましょう。

スポーツ愛好家にとって「ラグビーの勧め」として大切なことです。

1. courage

courage の概念は次のようにとらえるべきです。

readiness to face & capacity to endure danger, inherent freedom from fear or from its disturbing effects,

危険に耐え、恐れや悪い結果に打ち勝つ面構えであり能力

take courage 元気をだす, lose courage 落胆するとなります。

have a courage of one's conviction 所信を断行する場合であり、

take one's courage in both hands 勇敢にやる 大胆に敢行する

2. loyalty

loyal 忠義な、忠実な

faithful to に忠実であるということは信頼のできるということなのです。

true to allegiance 忠順の意志を示し、devoted to the legitimate sovereign

合法的な正当な主君への奉仕忠誠ということになります。

3. sportsmanship

sport 単数形は fun or diversion 遊び、気晴らし、

a pastime of an outdoor or athletic kind,,慰み

競技会の意味にも使われます。

sportsman は person fond of hunting & such as 狩猟などを好む人であり、そのような人は、好むだけではなく、マナーを大切にしましたのです。すなわち、

person who regards life as a game in which his opponents must be allowed fair play

そこから sportsmanlike スポーツマンらしいとか、sportsmanship という概念が定着するのです。

スポーツでは be allowed fair play フェアプレーが斟酌され、勝つことに全力を尽くす中にも、勝利至上主義に陥って楽しむことを忘れてはならないのです。

4. discipline

規律と訳すだけでは要点が不明確で、訓練、懲戒という意味にも使われる言葉です。

training 訓練 : of the kind that produces self control, orderliness, obedience.& capacity for co-operation

規律は組織体の基盤であり維持になくてはならないものです。規律は訓練によって達成されるものです。

1項に掲げられた「勇氣」は courage without discipline であってはならないのであって、ラグビーが蠻勇者の遊びでなく紳士のスポーツと言われる所以です。

5. teamwork

ラグビー団体競技です。多人数チーム競技ですから一段と teamwork が重要です。

競技はチームが一体となつての協同作業で協力度が妙味となり勝敗を左右します。

プレーヤーはチームのために for the team 全力で戦うことに生き甲斐を見だし、精神を象徴するチームの旗を仰ぎ、エンブレムを胸にして誇りを固め、声高く凱歌を歌って健闘を誓うのです。

5つの徳訓は、目標としては徳目であり、教えとしては訓示です。

それらはラグビーから得られるものである面では「ラグビーの勧め」の根拠となるものです。強健な身体育成とともに競技の存在価値でもあります。それらを踏まえたプロ化であり、勝利至上主義でなくてはならないのです。

第5章 Charter と fair の精神

ラグビー憲章の Introduction の第2段に次のように述べられています。

「ラグビーはプレーするにしても補助の支援に当たるにしても、勇気 courage 忠実 loyalty スポーツマンシップ sportsmanship 規律 discipline チームワーク teamwork のような多くの社会的な概念を包含している」。

一般的で普遍的な概念としての fair については特にとりあげられていませんが、大切な精神であることは言うまでもなく、競技法の項に fair play が出てきます。

「ラグビーは各チーム 15 人の 2 チームがフェアプレーを守り observing fair play 点をとるあう競技である」と述べています。

observe は守るという意味ですが、観察するという意味によく使われ observer は観察者・見守る人ということです。

競技規則の原理・原則の項では次のようになっていきます。

競技規則の基盤となるものとして次の 3 つをとりあげています。

1. 全ての人のスポーツ A Sport For All
2. 独自性の保持 Maintaining the Identity
3. プレーする喜びと楽しさ Enjoyment and Entertainment

総括的に普及指導の立場から明確に分かり易く示されています。

ラグビー精神が文字に書き込まれた競技規則の不変の根本原理は

1. イコールコンディション
2. オープンプレー
3. 安全

の 3 つで、単なる競技法でなく方向性を示しています。

競技規則の適用の項では、

「There is an overriding obligation on the players to observe the Laws and to respect the principles of fair play」

プレーヤーは競技規則を守りフェアプレー fair play の原則を尊重することをやり遂げる責任があるわけで、競技規則を守る observe し、fair play の原則を尊重する respect しなければならないのです。

レフリーとタッチジャッジは、公平 fairness と首尾一貫 consistency と鋭い感性 sensitivity と高度のやり方 at the highest levels, management によりその仕事を全うしなければならないのです。

[fair] は博覧会という意味もあります。公明正大とか正々堂々という意味の英語として使われています。辞書で一番目にあげられる意味は、美しい beautiful で清いといった感じが続き、fair sex 女性から blond 金髪と広がります。means 方法と句としては、by fair means or foul いかなる方法によっても、方法の是非にかかわらず

by fair means of moderate equality or amount (not bad)

moderate に中庸という意味です。favorable 都合のよい way to succeed という意味に使われることもあります。

fair の語感に広さと深さがあることがわかります。公正とか公平と単的な内容でないのです。勝利至上主義にはしり、反則でペナルティを科せられることが多いのに全く平気で激しさだけに感激するのは fair であるとは言えないのです。

gentleman-ship の線上で評価する場合も、fair play の意味は公平なプレーというのは全く間違いでないにしても、それだけでは不十分です。野球のストライクは fair ball 公正なボールという意味よりも打つのに良いボールということでしょう。ゴルフの fairway もゴルフを楽しむのにふさわしい言葉が使われています。

競技規則の適用に関しては 公平性 fairness は絶対重要です。憲章の中に競技の根幹になるものとして掲げられた勇気、忠実、スポーツマンシップ、規律、チームワークを大切に、平等な状況イコールコンディションから、獲得したボールをオープンプレーに努め、しかも十分安全に留意することによって、ルールを生かして競技を楽しむことがラグーマンの本分であることの自覚が大切です。そして fair であるとは、「思いやり」をもって行動することで、スポーツを楽しむ心豊に生きることを教示しているのです。

Rugby : A Sport For All ! A Way of Life !

スポーツを楽しみながら、心身を鍛え、人生についていろいろ学ぶことができ、人格形成に役立ったことを幸せなことです。

ラグビーのルールは人間的です。キーとなる、ルールの3つの意志即ち

1. イコールコンディション（公平）
2. オープンプレー（展開継続）
3. 安全（事故防止）の精神は人間の糧

となるものです。そして実際に潤滑油でもある2つの言葉即ち moderate と reasonable が加味されるみとによって一層スムーズにいくのです。

IRB は先にラグビー憲章を作成しルールブックに組み込みましたが、数年後、項目の羅列に過ぎなかったのを内容を一新し、人間の心に熱く訴えるものになりました。ラグビー発祥期社会の基盤にあった humanism やスポーツを楽しむにあたって sportsman-ship の大切さを強調し gentleman-ship と重ね併せて、ルールの精神を説いて、プレーヤー、コーチ、レフリー、と観衆の全てがそれらの重要性を理解し実践することを強く求めています。

fairness 公平とは平等あることをいうのではなく、思いやりの精神です。それを具現化するためには、moderate and reasonable の感覚・心情が大切です。

スクラムへ投げ入れる速さは moderate というのがこの言葉を聞いた最初でした。レフリングについての質問に対し、reasonable の一言が決まり文句であったことが問題意識の発端でした。レフリーに対する尊敬が先にたって、細かいことは専任・専決というのが明確な結論でした。moderate 「中庸に」 reasonable 「常識的」と簡単にいうことのできない深淵な内容が含まれているのです。

憲章改定に係わる要点の一つに、ラグビーの普及についての基本理念の強調があげられます。ラグビーの原理・原則の中に次のように述べています。

Rugby is played by men and women and by boys and girls world-wide. . . .

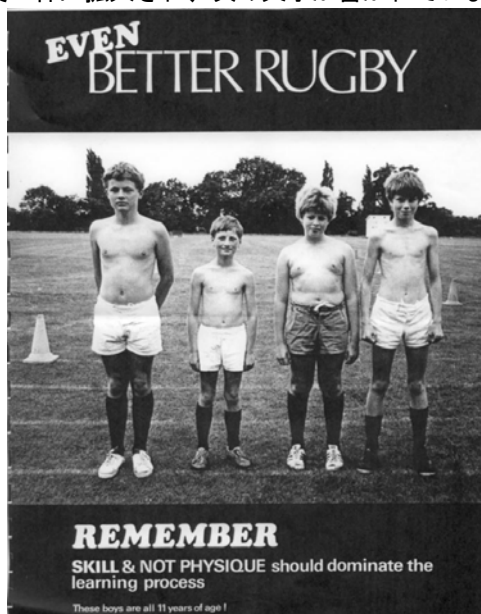
there is an opportunity for individuals of every shape, size and ability to participate at all levels.

そして、競技規則の原理・原則に A Sport For All という項があります。

The laws provide players of different physiques, skills, genders and ages with the opportunity to participate at their levels of ability in a controlled, competitive and enjoyable environment. It is incumbent upon all who play rugby to have a thorough knowledge and understanding of the Laws of the game.

moderate and reasonable の心情は特待生制度が勝利至上主義に陥ることなく行き過ぎを排し、正常な状態を志向します。そしてラグビーが世界中の更に多くの人に愛されることを望み、ラグビーは力の強い荒っぽい大男だけが楽しめるスポーツではないということを明確にしています。

1973 年版 BETTER RUGBY 38 頁 7.5cm 四方の写真が、1985 年版 EVEN BETTER RUGBY では表紙を開いた最初の頁一杯に拡大され、次の文字が書かれています。(写真)



REMEMBER
SKILL & NOT PHYSIQUE should dominate the learning process

Don Rutherford が日本協会の招請で来日し、同志社の岩倉のグラウンドで講習会をもった翌日、彼の希望により伏見工業でおこなわれているラグビースクールに案内しました。その時、上記の写真が重要であることと、格上げして前に出す予定であることが、改定の重要ポイントであることを述べ、その理由を指導方針・指導の原理原則を元に説明しました。後に出版された改定版は彼の言ったように、4 体型の 4 少年の写真が冒頭にありました。以来大分時が経っていますが、原理原則は不変であり、如何に大切かということを改めて認識させられるのです。

A sport of all 1

Fair and Moderate and Reasonable !

The name of the game is ENJOYMENT !



ドン・ラザフォード、筆者、ラグビースクール生徒との記念写真

2007. 12. 31

西川 義行